

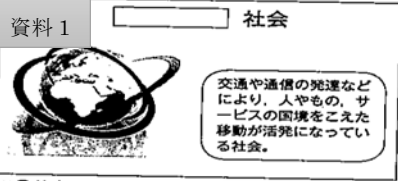
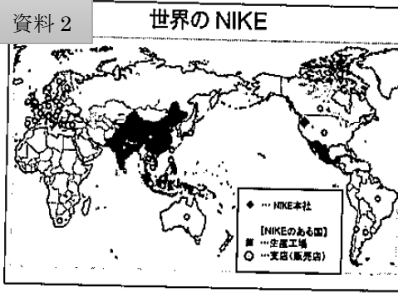
第 4 章-第 5 節スマートボード、電子教科書を活用した授業づくり (pp173-pp184)

1 実践授業

単元：「世界と日本の結びつき」

目標：多国籍企業の販売戦略及び国際ハブ空港をめぐる争いを分析することを通して、グローバル化の進展により地域間の社会関係や相互関係が強まっていることや、それに伴い様々な影響がもたらされていることを理解させる。

授業のながれ (指導案) と授業コンテンツ：

おもな問い (T：教師の指示・発問、 P：予想される生徒の反応)	対応する授業コンテンツ	分析
<p>導入</p> <p>T：交通や通信の発達などにより、人やもの、サービスの国境をこえた移動が活発になってきました。このような社会は一般的に‘□□社会’と呼ばれています。□にはどんな言葉が入ると思いますか。</p> <p>P：グローバル</p>	<p>資料 1</p>  <p>※① 答えさせたい部分をマスクで隠して提示する。</p>	<p>A-1 動機づけ</p> <p>本時の授業内容に対する導入</p>
<p>展開 1</p> <p>T：スポーツシューズ (NIKE) はどこで作られたものであると思いますか？</p> <p>P：米国・中国・日本など</p> <p>T：商品タグを見てみるとタイで作られたことがわかります。この地図から何が読み取れますか？</p> <p>P：本社は米国にある。</p> <p>P：生産工場は、主に東アジアに集中している。</p> <p>P：支店 (販売店) は日本をはじめヨーロッパなどの経済的に豊かな地域に集中している。</p>	<p>資料 2</p> <p>世界の NIKE</p>  <p>※② Google Earth の「ツアー」機能を使い、本社 (米国) → 生産工場 (インドネシア) → 販売店 (日本) の順に流過程をトレースする。</p>	<p>C-2 体験の代行</p> <p>Google Earth で順に追うことで、NIKE の流通がわかる。</p>
<p>学習問題 1：なぜ、NIKE のような多国籍企業は、本社とは別の場所で、生産したり、販売したりしているのだろうか？</p> <p>T：予想をノートに書きなさい。</p> <p>P：発展途上で生産したほうが人件費を安く抑えることができるから。</p> <p>P：人件費を安く抑えた分を広告費にあてることができるから。</p> <p>T：資料「多国籍企業 ‘NIKE ‘」をもとに、学習問題に対する答えを見つけなさい。</p> <p>P：NIKE では、本社で商品デザイン、マーケティング、経営の大部分を行い、人件費や土地代が安い東南アジア (発展途上国) で生産を行っている。出来上がった商品は、高く売れる (経済的に豊かな) 場所で販売することで効率的に利益をあげている。</p>	<p>資料 3</p> <p>NIKE 本社の画像 本社—アメリカ オレゴン州</p> <p>NIKE は、オレゴン州ポートランドに本社を置く企業で、商品デザイン、マーケティング、経営の大部分はここで行われます。生産はここを含めてアメリカ国内では行っていません。</p> <p>NIKE ベトナム工場の画像 生産—主として東南アジア</p> <p>NIKE は、40 カ国に工場を持ち、50 万人以上の従業員のうちほとんどを低賃金で雇っています。1 日の給料は約 426 円と低く、ここで約 170 円で作られた運動靴は、イギリスでは約 1 万 5 千円以上で売られています。</p> <p>タイガーウッズ 画像 販売と広告活動—主に経済的富裕国で展開</p> <p>NIKE は、140 カ国の 4 万 7 千以上の店舗に商品を供給しています。広告費はタイガーウッズのように NIKE の商品を着てもらう名人への支払いも含めて年間約 1700 億円以上にもなります。</p>	<p>C-2 教員の説明資料</p> <p>NIKE の本社、生産工場、広告などについて、画像と文字を組み合わせる資料提示をしている。</p>

T: NIKEのような多国籍企業が、生産コストを下げるために生産者に長時間労働や強制労働を課し、人権侵害にあたる経営を非難する声もある。

資料 4

【写真】インドネシアの被服工場で働く少女

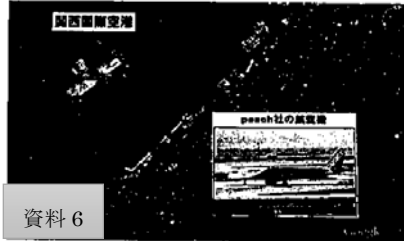
T: 資料「関空危機感 独自策で対抗」を読みなさい。
T: 関西空港は、'何のため'にどのような'対抗'をしていますか？

P: 成田や韓国の仁川空港と対抗するため、2009年から新規就航分で1年半無料となる着陸料の大幅割り引き制度を導入したり、国内外の格安航空会社(LCC)を誘致し新たな需要の開拓を行ったりしている。

資料 5 【文字資料-新聞記事】

朝日新聞

「関空危機感 独自性で対抗」

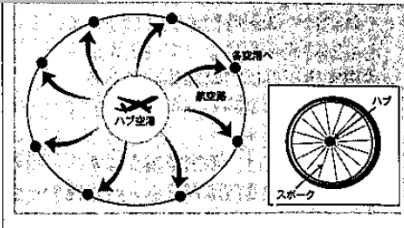


資料 6

※⑥ Google Earthを使って、関西国際空港に移動する。また、「イメージオーバーレイ」機能を使い対抗策の1つを写真で提示する。

T: ハブ空港とは、世界各地に放射状に伸びた航空路線網の中心として機能する「拠点空港」という意味です。

資料 7 ハブ空港とは？



※⑦ ハブ空港を図解した絵を提示しながら説明

学習問題 2: なぜ、関西空港は様々な対抗策をしてまで、「国際ハブ空港」を目指すのだろうか？

T: 予想をノートに書きなさい。

P: 海外からの観光客がたくさん訪れることで、様々な経済効果や雇用拡大が期待できるから。

P: ハブ空港になれば、乗り継ぎが便利になり、空港を利用する人が増えるから。

T: ハブ空港になるためには、主に5つの条件が必要だといわれています。日本の空港に足りないものはどれでしょうか。

P: (2)番、それとも(3)番

T: 日本を代表する関西、成田、羽田空港と仁川空港とを比較しながら見ていきましょう。「4つの空港の中で一番たくさんの国際都市と結ばれている空港」はどこでしょうか？

資料 8

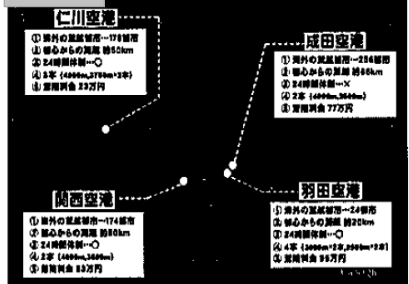
国際ハブ空港に必要な5つの条件

- (1) たくさんの国際都市と結ばれていること。
- (2) 経済の中心地から近いこと。
- (3) 外国との時差に対応した24時間体制の空港であること。
- (4) 大型機が発着できる長い滑走路が何本もあること。
- (5) 航空会社が支払う着陸料が安いこと。

※⑧ 条件を提示して考えさせる。

P: 成田空港

資料 9



※⑨ それぞれの空港の位置関係と4つの条件を比較して提示する。

B-2 失敗例の提示

多国籍企業のビジネスモデルの負の側面を写真資料で提示

C-2 教員の説明資料

関西国際空港の対抗策についての理解

C-2 教員の説明資料

関西国際空港の対抗策についての理解

B-2 モデルの提示

ハブ空港のモデル図を提示し、概念を取得させる。

B-2 モデルの提示

国際ハブになりうるための条件の提示

C-2 比較

仁川空港、日本3空港が国際ハブの条件を見致しているか比較・検討する。

T：仁川空港は176都市だが、仁川空港は、日本の28都市につながっており、地方から海外に移動する場合には、羽田や成田などの直行便を利用するより、仁川空港を経由したほうが「安く、早く移動できる」と地方から支持されている。

資料10



※⑩「イメージオーバーレイ」機能を使い、仁川空港と繋がっている28都市（日本）を提示する。

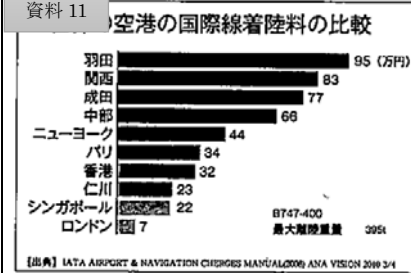
C-2 教員の説明資料

仁川空港と日本の地方空港の多くが繋がっていることを示す。

T：グラフ「世界の空港の国際線着陸料の比較」からどんなことがわかりますか。

P：日本の空港は、諸外国と比べて全体的に着陸料が高い。仁川空港の着陸料は、羽田空港の約4分の1の料金である。

資料11



※⑪グラフを提示して考えさせる。

C-2 比較

世界の各空港と日本の空港の発着料について比較する

終
結

T：今日の授業で分かったことをノートに書きなさい。

2 授業者からみた本授業

【授業について】

- ・教科書→グローバル化による地域間の社会関係や相互関係が強化されている現実（原因やその背景）を十分理解させる構成となっていない！
→「多国籍企業」「国際ハブ空港」を取り上げ、効果的なICTで補う授業を構成。

つまり…

志
ごはん
【第3類型】
事象間の関係を問い、探求していく学習



技
ふりかけ
ICTを利用した効果的で、興味をひきだす技。

型の授業をめざす※

【授業コンテンツの開発について】

① SMART Notebook

SMART Board（電子黒板）専用のソフトウェア

- ・オリジナル教材の作成機能←地図に着色したり、点を打ったりする。（例）資料2など
- ◎ソフトウェアがないと作成できない！これらを導入していない学校では…？ソフトがない場合は？

② Google Earth

- ・「イメージオーバーレイ」機能←Google Earth で地図や図、表、写真などを重ね合わせることができる。（例）資料9 資料10 など。
- ・「ツアー」機能←登録した地域に移動することができる。（例）資料2

3 研究者からみた本授業

- ・本単元「地域間の結びつきを通して見た日本の地域的特色」
 - 地域間のつながりを実感させる具体的なモノやヒトの具体的な移動を通し身近になる。
 - 旅行経験のある子どもとない子どもではイメージ差。
 - これを埋めるためのICT
- ・ICTはあくまでも「ごはん」の上にかかった「ふりかけ」(※図参照)
- ・「ツアー」機能→ストーリー性が生まれる。

『NIKE 本社→工場→販売店・消費者』と地球儀上で旅をしている。

- ・インタラクティブ性△
 - 直接書き込んで説明したり、意見を共有してもよいのでは…?
 - ↓ (参考) **資料10**でインタラクティブ性を高めると?

※インタラクティブ性とは...?
「対話」または「双方向」という意味で、ユーザーがパソコンの画面を見ながら対話をする形式で操作する形態のこと。



Google Earth より作成

4 メンターからみた本授業

- ・**資料3** 人物写真とその解説を交えている点は電子黒板が有効に使われている。
- ・**資料9** 「ハブ空港」の考察の場面
各空港がその条件 (**資料8**) を満たしているかどうか探すのみでは、思考力は養うことができない!
 - 個別情報を整理・統合しつつ再考する必要性。
- ・「ノートに書くこと」
 - 「一問一答」(電子黒板の情報による) →学習者相互の学びの共同化、書いた事項のシェア
 - グループでの話し合い などを取り入れたほうがよい。

5 分析と補足

・授業でICTを使うメリットは何か？

→教師の志に沿った授業を展開しやすくなるのではないかな？

教科書や、資料集に載っている図版のみならず、自作の図版も提示することができる。

(例) **資料7** **資料9** など

→効果的な授業展開ができるのではないかな？

図版に直接書き込んで説明できる。映像も流すことができる。

地理の場合、実際にそこに行き、自分の目で見て学習することが望ましいが、それは厳しいので、画像や映像・Google Earth 等を活用することで、疑似体験できるのではないかな？

(例) **資料2** など

・授業でICTを使う際に留意しなくてはならない点は何かな？

→使った資料が残らない！

次から次へと画面に映し出される資料は変わっていく。そのため、残っていかない。

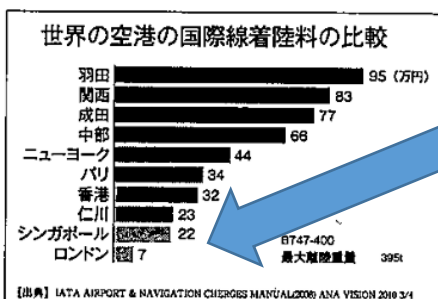
ICTと板書の兼ね合いを考える。生徒にプリントを配布することも考える。

→持ってきた資料は、真実を伝えているのかな？

教師が自由に資料を持ってこることができるのは、良い点だがその反面、吟味も必要。

資料が取捨選択されたことで、事実がゆがめられていないかな？教師の批判的に資料を見る力が必要。

(例) **資料11**



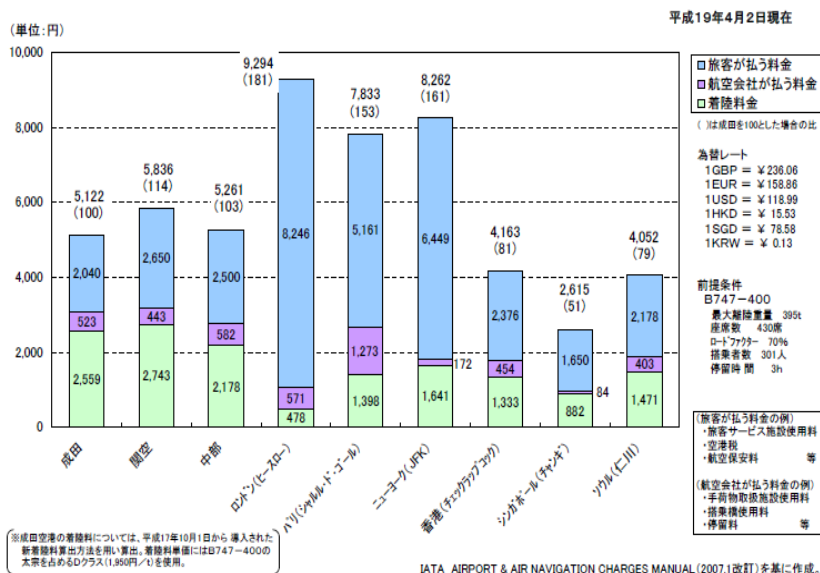
世界有数の混雑空港、ロンドン（ヒュースロー）の着陸料がこんなにも安いのか？

↑ロンドン行きだけ航空運賃が激安なことではない。

→空港でかかるお金は着陸料だけではない！

世界主要空港の空港利用料金（国際線：旅客1人あたり）

←資料：「空港・航空管制の維持について」
国土交通省



◎航空会社が空港に対して払うお金は、航空保安料やボーディングブリッジ使用料、駐機料など様々…
総合した料金で見ると、ロンドンは成田の2倍近くある。
仁川と比較すると、仁川のほうが安いものの、**資料10**ほどの差ではない！

となると、仁川優位なの…？

◎京都市教育委員会「ICTを活用した学力向上のための方策」によると、教師が授業内で掲示するタイプの教授方法で、「ICTを活用する場面」と「ICTを活用する目的」の関係は以下のように分類される。

		ICTを活用する場面		
		1 導入	2 展開	3 終結
ICTを活用する目的	A 学習に対する児童・生徒の興味関心を高める。	A-1- 動機づけ A-1 体験の想起		
	B 児童・生徒一人一人に課題を明確につかませる。	B-1 課題の提示 B-1.2 モデルの提示 B-1.2 失敗例の提示		
	C わかりやすく説明したり、児童生徒の思考や理解を深めたりする。		C-2 比較 C-1.2.3 教員の説明資料 C-2 学習者の説明資料	C-2.3 体験の代行
	D 学習内容をまとめる際に児童生徒の知識の定着を図る。	D-1 振り返り	D-2.3 繰り返し	D-3 振り返り

6 私の授業はこうしたい！

【授業コンテンツ開発の面について】

・「SMART Board」がテキストで紹介されているが、そのソフトウェアを持っていない。買えない。

→①電子黒板機能

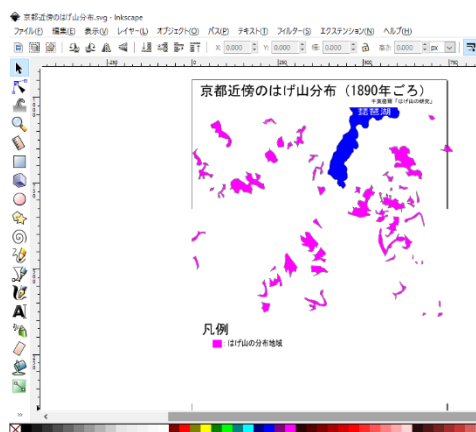
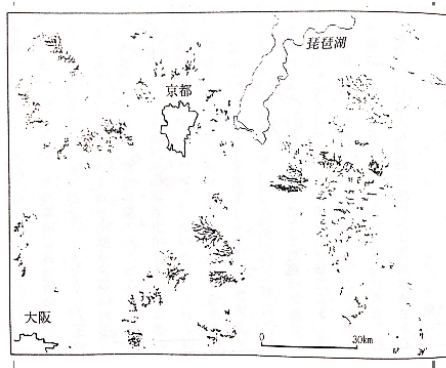
…スライドをPower Pointで作成し、それをプロジェクターで投影する。

タブレット端末に接続し、直接書き込めるようにして代用。

→②オリジナル教材作成機能

…イラストレーターのような無料版ソフトウェア（Inkscape）で代用。

（例）はげ山の分布資料作成



- Google Earth の活用

「イメージオーバーレイ」機能を活用する。

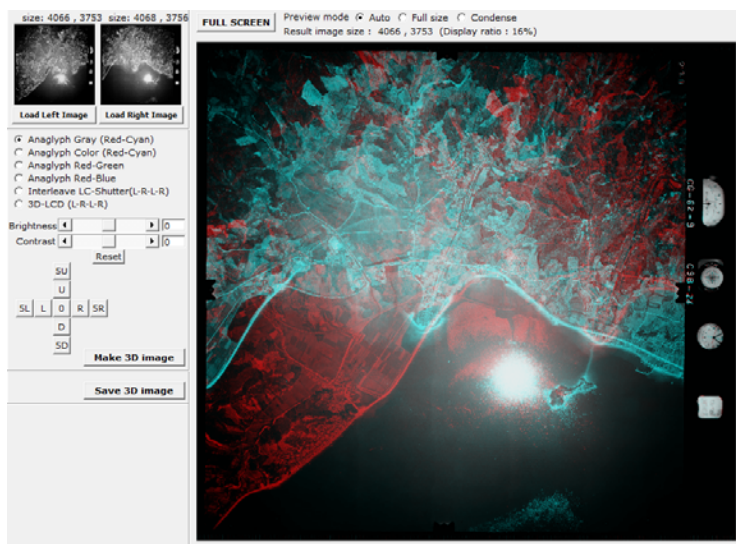
(例) 京都近傍のはげ山分布

- アナグリフの作成

赤青メガネを通して見ることで、3Dに見えるようにする。

フリーソフト Anaglyph Maker の利用

国土地理院HPから空中写真をダウンロード（無料）し、それを2枚重ねて作成。



【授業の構成について】

- 第3類型の授業構成を目指す。
- テキストは人文地理の授業であったが、今回は自然地理の授業実践を考える。
- インタラクティブ性を持たせるため、投影する図版に直接書き込んで説明していく形にしていく。
生徒からの意見も直接書き入れることができる形にする。
- 教師が資料提示のためにICTを使うことはもちろん、生徒がICTを使うという側面も入れる。